

第 6 次長期振興計画後期計画戦略プロジェクト提案

「あらゆる世代が豊かに暮らすまちづくり」

多世代交流複合施設設置の検討について

【目次】

1. はじめに
2. 戦略プロジェクトの位置づけ
 - (1) 策定の趣旨
 - (2) 策定テーマ
3. 本分野にかかる現状と課題
 - (1) 庁内の課題・市民の声
 - (2) 子育て施設・社会教育施設の現状
4. 目指す姿と方向性
5. 取組項目
 - (1) 多世代交流複合施設の設置
 - (2) 「あらゆる世代が豊かに暮らすまちづくり」への取り組み
6. 計画の実施に向けて
 - (1) 市民や利用者を巻き込んだ検討体制の構築
 - (2) 検討事項

1. はじめに

西之表市は、第6次長期振興計画において、将来像である「人・自然・文化一島の宝が育つまち」のキャッチフレーズを掲げ、「西之表市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と連動しながら、少子高齢化、人口減少の打破など、市政運営に取り組んできました。

令和3年度、後期計画を策定するにあたり、本市に住むあらゆる世代が、楽しく豊かな生活を営み、安心して住み続けることができる持続可能なまちを形成するため、戦略プロジェクトを立上げ、特に重点的に取り組んでいくこととしました。

本プロジェクトについては、市役所庁内の中堅職員が集まり、テーマに関する課題について、各課との意見交換や市民アンケートなどから、将来、西之表市が目指す姿、具体的な方策、検討や協議を重ね、計画を策定しました。

島の宝の可能性を十分に活用し、島の宝である子どもたちを市全体で育てつつ、西之表市に住む人たちすべての世代が、豊かで楽しい生活を送ることが出来るよう、取り組みを進めていきます。

2. 戦略プロジェクトの位置づけ

(1) 策定の趣旨

西之表市まち・ひと・しごと創生総合戦略重点プロジェクトを集中的・継続的に推進するため構想を計画し、国・県の事業導入を積極的に進めるとともに、市民や民間活力導入を図りながら、市全体の事業を効率的にリードして、市の将来像を目指します。

(2) 策定テーマ

戦略プロジェクトのテーマとして、「～人口減少問題と経済好循環への挑戦～あらゆる世代が豊かに暮らすまちづくり」を掲げ、総合戦略の重点項目である「結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる」、市長公約である「人にやさしい社会づくり」分野の中で、具体的取り組み（事業）を整理し、目標達成の道筋を示していきます。

また、SDGs、循環型社会、防災を意識した事業の構築の項目を取り入れます。

3. 本分野にかかる現状と課題

(1) 庁内の課題・市民の声

分野	現状・市民の声・課題
子育て	・ 子育て施設（子育て支援センター、榕城児童クラブ）の老朽化 → 環境整備の必要性 → 湿気がひどい、衛生的に悪い（赤ちゃんがハイハイできない など） → 狭いため、希望する人の受け入れができない ・ 子育て世帯包括支援センターの設置検討 ・ 専門職（保育士、看護師）の不足、確保 ・ 子どもを遊ばせる場所がない。特に雨の日に行く場所がない

	・子ども用のトイレ（便器）がない
社会教育	・社会教育施設（特に図書館）の老朽化とバリアフリー化、使いにくさ ・市民アンケートから見る社会教育施設への不満 →暗い、どこにあるかわからない、行く気になれない 等 ・鉄砲館の収蔵資料の増大・文化財の保管場所の確保
相談窓口	・総合的な相談窓口がない（相談場所がばらばら） ・市役所は知っている人が多いので、相談に行きにくい
高齢者支援	・高齢者の交流拠点 →地域ではサロンで集まるけれど、多世代交流の場の不足 ・介護の「支え手不足」 →今はなんとかやっていっているけど、これからが心配・・・。 ・地域で安心して生活できる仕組みが欲しい。 ・誰でも集える場所が欲しい。

（２）子育て施設・社会教育施設の現状

子育て施設と社会教育施設については、昭和 30～40 年代に建てられており、耐用年数に迫る築年数となっています。当面の利用に当たって、耐震診断や改修の対応は済んでいるものの、常に修繕が必要な状況です。

市民会館については、平成 27 年度に防災機能強化のための改修が実施されていることから、築年数は古いものの健全であると言えます。

施設名	建築 年度	面積 (㎡)	耐用 年数	築 年数	耐震 基準	耐震 診断	耐震 改修	健全度
市立図書館	1964	1,323.32	60	57	旧	済	済	B
子育て支援センター								
榕城児童クラブ								
勤労青少年ホーム	1974	660.69	60	47	旧	済	済	D
市民会館	1972	2,351.1	60	49	旧	済	済	A

4. 目指す姿と方向性

① <多世代が、郷土への愛着し、生きがいを感じる環境や機会の提供>

本市の人口の推移の特色として、高校を卒業した子どもたちは、就職や進学で、一度島を出ていくこととなりますが、4、5 年すると帰島する傾向が見られます。これは、「種子島が好き」という子どもたちが多く、子ども時代に楽しい体験したことで、「ふるさとのために働きたい、貢献したいという気持ち」の表れではないでしょうか。

そこで、その子どもたちの気持ちをより、強く、深くするために、子どもころから、西之表市の歴史と文化に慣れ親しむことができ、種子島の良さを再発見することができる場所を提供します。

また、年齢を問わずに自身の興味関心や必要性に応じて学べる環境や機会も提供していきます。

② <ふるさとで子育てできる環境の提供>

帰島した若者たちの結婚、出産、子育ての希望をかなえ、安定した子育て環境を得るために、地域全体で子育てしているという安心感を与え、孤立しない子育て環境の整備を行います。

③ <高齢者を支える、高齢者が支える「地域力」の強化>

高齢者の皆さんは、西之表市発展のために、これまで一生懸命ご尽力いただいた先輩です。その先輩方が、自分の地域で安心して生活できる環境を整えていくことは、非常に大切です。そのためには、介護の担い手不足の解消、地域の支え手のしくみづくりを行うことが重要です。高齢者がいきいきと自分らしく生活できる、多世代の場づくりを考えます。

また、元気な高齢者自らが、「先生」となり、「支え手」となる活躍の場の提供も必要です。

◇住民と共に作り上げる「住民が幸せを感じるまち」

- ・「いずれ、帰ってきたい」と子どもたちが思う島を確立し、いま、西之表市に住む市民が住み続けたいと、それぞれの幸福度、満足度アップすることで、幸せと豊かさを感じるまちを目指します。
- ・「移住・定住」施策と両輪で、人口増加を目指します。
- ・「世代」と「人」が循環しつながら、人口は維持され、持続可能なまちづくり」を実現していきます。

5. 取組項目

上記、「目指す姿」を実現し、目的を達成するため、多世代交流複合施設の設置を提案します。

(1) 多世代交流複合施設の設置

- ・「旧榕城中跡地」に、様々な世代の市民をつなぐ多世代交流複合拠点（子育て・生涯学習・多世代交流施設）を設置し、さまざまな世代が集い、学べる場所の設置を検討します。
- ・新たな施設には、再生可能エネルギーの導入などカーボンニュートラルやSDGsの視点を取り入れた持続可能なまちづくりの取り組みを実践します。

① 施設機能

- ・子育て支援施設（児童クラブ・子育て包括支援センター）
- ・社会教育施設（生涯学習拠点・図書館・郷土資料室）→児童生徒が「学ぶ」場所
- ・ふるさとの偉人顕彰展示室
- ・相談窓口（地域福祉包括相談・移住定住など）
- ・多世代交流の場（多目的ホール）
 - 自由に仕切れるスペースに。高齢者サロン、ワークショップ、イベント広場など。避難施設にも対応可能に。
 - 高齢者が子育ての支え手になる場
- ・販売スペース（障害者施設や地域などが交代で利用できる販売場所の設置）

- ・ 飲食スペース
- ・ キッチンスペース（離乳食や料理教室、災害時には炊き出し可能に）
- ・ 地域公共交通の拠点（どんがタクシー、巡回バスわかさ姫の拠点）
- ・ 屋上にソーラーパネル
- ・ ミニ公園（ちょっとした遊具付き）とミニグランドゴルフ場
- ・ E V 車充電
- ・ 駐車場
- ・ 子ども関連に関わる執務室

② 設置場所の検討

上記機能を備えた「多世代交流複合施設」設置の検討をするにあたり、市の中心地にあり、ある程度の広さのある場所を想定すると、第 1 に旧榕城中学校跡地が挙げられます。

□提案理由

旧榕城中学校はかつて種子島氏の赤尾木城であり、港に向かって城下町が広がり、市街地が形成され、歴史と文化の中心でありました。また、現在は市役所や熊毛支庁、博物館や図書館など公共施設が集中しており、現在に至っても、歴史・文化・教育の中心地であることは言うまでもありません。

財産監理課が策定した「西之表市公共施設再配置計画 榕城中学校跡地活用」によると、旧榕城中のエリアは、一部利用があるもののエリアの特徴に合致した活用とはなっておらず、それに加え、中学校校舎等、建物自体の老朽化が進んでいる状況であります。

そうした中、周辺にある子育て、教育施設についても、老朽化が進んでおり、延命化を図るにも限界が見えています。

これらのことを踏まえて、本計画で提案する多世代交流拠点施設の設置場所については、榕城小学校や市役所にも近く、公共交通の中心になる、旧榕城中学校跡地を最適地とし、「知の総合拠点」として、歴史・文化・教育・子育て・福祉の分野で、あらゆる世代が、集い、学び、交流する拠点整備を提案します。

③ 集約する施設及び機能について

- ア. 集約する施設等については、市立図書館、子育て支援センター、榕城児童クラブの 3 施設とします。
- イ. 一部機能を集約する（移す）施設については、勤労青少年ホームの市民講座の場、種子島開発総合センターの展示コーナー（郷土の偉人顕彰展示室）などとします。
- ウ. 子育て支援施設である、美浜児童センター、かもめ児童館は子どもたちの地域の遊び場として、存続させます。

④ 財源及び施設集約による効果額の試算

- ア. 地方創生拠点整備事業、地方債、その他国県補助事業を活用します。

イ、公共施設の集約化・複合化事業等の補助事業を活用します。

⑤. スケジュール

年度	手続き等	入札・工事等
R4 年度 (2022) ~ 約 8 年	・新施設計画検討委員会（庁内・庁外）→基本的考え方、具体案決定 ・建設基本計画策定委員会 →基本理念、施設規模決定 ・開設準備室設置 ・住民説明 ・解体設計予算計上 ・基本設計予算計上 ・工事予算計上 ・所管課決定（機構改革） ・条例制定 ・指定管理者検討、決定 ・オープン	・解体設計 ・道路拡幅を含めた測量設計 ・埋蔵文化財発掘調査 ・地質調査 ・解体工事 ・法面、道路工事 ・実施設計プロポーザル ・基本設計決定、実施設計策定 ・入札 ・建物、外溝工事

⑥ 旧榕城中跡地の属する用途地域について

旧榕城中学校がある榕城中目地域は、第 1 種低層住居専用地域であり、建物に高さ制限があり、業種の制限もあることから、法的な縛りの大きい、いわゆる閑静な住宅街を目指した地域に指定されています。

今回、集約を検討する市立図書館や子育て支援センター、児童クラブについては、その用途については概ね合致しており、旧榕城中跡地の属する第 1 種低層住居専用地域へ機能移転は可能であると考えます。ただし、施設の種類によって詳細が異なることから、引き続き検討が必要です。

⑦ 現在の建物について

原則、解体を検討し、公共施設の集約を行います。ただし、現在も利用されている建物（体育館・現埋蔵文化財資料室・武道館）については、利用者等の意見を聞きながら、取扱いについては、引き続き検討します。

また、現在の市立図書館の建物についても、今後の検討課題とします。

⑧. 再生可能エネルギーなどカーボンニュートラルに関する取組

政府が掲げる 2050 年までのカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、ソーラーパネル設置、EV 車充電機設置などを検討していきます。そうした取組を実施することにより、子どもたちが SDG s の取組を体感する学びを推進していきます。

(2) 「あらゆる世代が豊かに暮らすまちづくり」への取組

これまで取り組んできた「ひと分野」事業について、さらに利用しやすく、市民の満足度が上がる取組になるよう、地域の中で支え合える仕組みづくりの構築を強化します。

具体的施策については、関係所管課で検討を行うこととします。

①. 子育てしやすいまちづくりの強化（安心して子育てができる体制づくり）

ア ファミリーサポートセンターの強化

- ・「まかせて会員」獲得のための預かりの場の提供
- ・「まかせて会員」への報酬の増額

イ 病児・病後児保育への取組支援

ウ 児童相談所機能の誘致または専門的人材派遣の働きかけ

- ・児童相談所機能の誘致
- ・専門職の派遣と本市職員の専門的な人材育成

エ 都市公園及び公共施設に子ども用トイレを設置

オ 子育て支援のための組織体制の整備

- ・「子ども庁」創設に合わせ、児童福祉部門と母子保健部門が統合した「子ども課」の設置
- ・「子育て世代包括支援センター」設置による、子育て世帯に対する全面的なバックアップ体制の整備

② 地域の絆で支え、安心して住み続けることができる地域力の強化

ア 若者世代が大字校区に居住するための経済的負担の軽減

イ 移住定住を考える若者世代への地域総ぐるみの後方支援体制の確立

③. 高齢者を支えるまちづくり

ア 地域の高齢者支援協議会への財政的支援の見直し

- ・見守り強化、生活のお手伝い等、地域の互助活動への支援

イ 地域や NPO、民間事業者等との連携による支援体制の構築

- ・介護予防、日常生活支援総合事業を活用した移動支援、買い物支援など、新たなサービスの創出

ウ 有償ボランティアの仕組みの再構築と普及啓発

エ 元気な高齢者が活躍できる場づくり（シニア人材の活用）

オ 高齢者の社会参加・地域貢献活動への支援と地域における介護人材の裾野の拡大

- ・高齢者地域支え合いグループポイント事業及び元気度アップ・介護人材確保ポイント事業

の充実

6. 計画の実施に向けて

(1) 市民や利用者を巻き込んだ検討体制の構築

上記、複合施設設置の取組をすすめるため、次の検討体制で検討を進めます。

【検討委員会】	庁内	副市長・教育長・総務課長・財産監理課長・企画課長・健康保険課長・高齢者支援課長・地域支援課長・建設課長・福祉事務所長・社会教育課長・教委総務課長（12）
	庁外	商工会、市 P 連、観光協会、文化協会、障害者団体、女性団体、老人クラブ、区長会、学識経験者（設計士等）、議会（10）
【実行委員会】 （係長級）		消防防災係・登記管理係・財政係・企画調整係・健康増進係・高齢者支援係・コミュニティ推進係・都市計画係・建築住宅係・子育て支援係・市民総合相談室・社会教育係・文化財係・施設係（事務局：政策推進係） ※その他、必要に応じて係を追加する。

(2) 検討事項

年度	手続き等	検討・懸案事項
R5 年 (1 年)	○複合施設検討委員会（庁内・庁外） →基本的考え方、具体案決定 →基本計画策定委員会 ○基本理念、施設規模検討 ○予算計上（計画、設計等策定委託・解体費用） ○住民説明会 ○市議会説明	●複合施設建設の意思決定の確認 ●場所の選定 →旧榕城中利用検討について公共施設管理検討委員会への協議 ●集約する施設の選定
R6 年 (2 年)	○基本構想、基本計画策定 ○サウンディング調査 ○解体設計 ○周辺整備調査（発掘・地盤調査・道路拡張等） ○予算計上（周辺整備・実施設計等） ○建設準備室設置	●都市計画マスタープラン、立地適正化計画等との整合性 ●旧榕城中の校舎等の処遇の方向性 ●現在、利用している施設の処遇の方向性
R7 年 (3 年)	○解体作業 ○周辺整備（発掘・地盤調査・道路拡張等） ○予算計上（周辺整備・実施設計等）	●新施設の規模等 ●費用の財源

R8 年 (4 年)	○実施設計プロポーザル ○実施設計、基本設計策定 ○建設 ○予算計上（建物建設等）	●運営方法（指定管理等） ●庁内組織の機構改革
R9 年 (5 年)	○建設関係工事契約 ○建設工事	
R10 年 (6 年)	○オープン	

< 参考 > 検討チーム構成

課名
社会教育課社会教育係
社会教育課文化財係
福祉事務所子育て支援係
農林水産課農政管理係
会計課会計係
地域支援課コミュニティ推進係
高齢者支援課高齢者支援係

本テーマに係る現状と課題

子育て支援

- ☐ 子育て支援センターの業務見直し
- ☐ 子育て世帯包括支援センターの設置検討
- ☐ 榕城児童クラブ、子育て施設の移転
- ☐ 遊び場の不足
- ☐ 現行の子育て支援施設の老朽化
- ☐ 専門職の確保
- ☐ 遊戯室や一時預かりへの対応

高齢者支援

- ☐ 幅広い世代の交流の場の提供
- ☐ 生活支援の仕組みづくり
- ☐ 重層的な支援体制の構築
- ☐ 移動手段の確保
- ☐ 地域における互助の仕組みづくり
- ☐ 介護の「支え手不足」
- ☐ 民間企業との連携

社会教育

- ☐ 社会教育施設の老朽化
- ☐ 障害者や高齢者が利用しにくい
- ☐ 図書館・郷土資料室の充実
- ☐ 移動手段の確保
- ☐ 講座の場所の確保
- ☐ 誰でも集える場所の創出
- ☐ 文化財の保管場所確保

◇課題解決のためのコンセプト・方向性

住民と共に作り上げる「住民が幸せを感じるまち」

その① 多世代が、郷土への愛着と生きがいを感じる環境や機会の提供

その② ふるさとで子育てできる充実感の提供

その③ 高齢者を支え、高齢者が支える「地域力」の強化

課題解決に向け、公共施設を集約することにより、

旧榕城中学校跡地に**多世代交流複合施設**を整備検討を進める

子育て支援

- ☐ 子育て支援センター
- ☐ 子育て世帯包括支援センター
- ☐ 児童クラブ
- ☐ 遊戯室



子育ての充実



多世代交流の 拠点

高齢者支援

- ☐ 誰でも集える場所
- ☐ 多世代交流室
- ☐ 高齢者サロン

社会教育

- ☐ 図書館
- ☐ 郷土の偉人顕彰コーナー
- ☐ 生涯学習センター
- ☐ 郷土資料室



高齢化社会への 適応

必要な施設の整備

相談窓口

- ☐ 地域福祉包括相談
- ☐ 生活の困りごと
- ☐ 移住定住

相互的な見守り

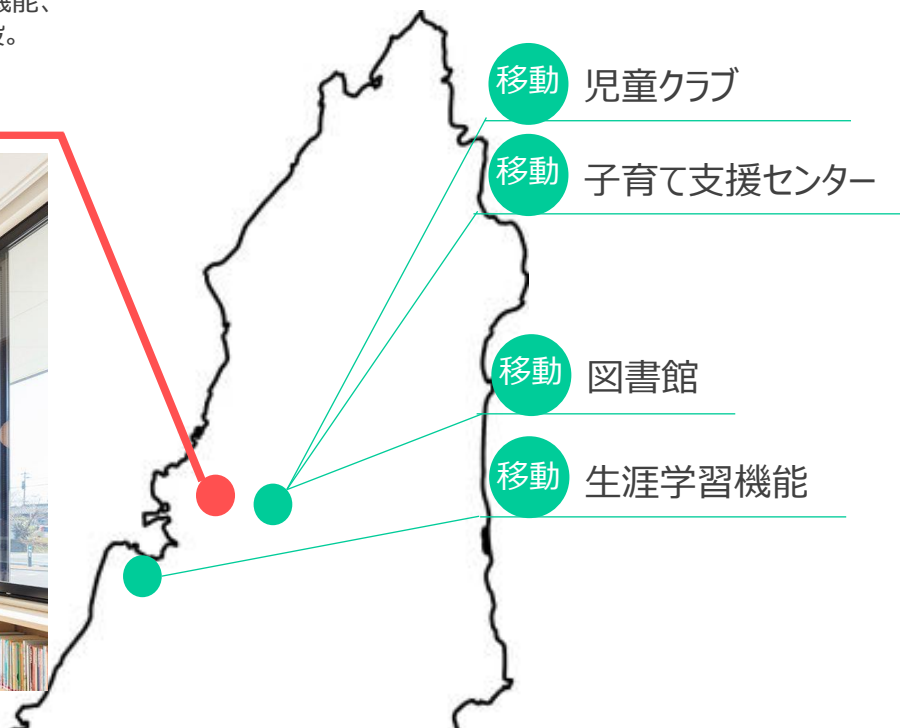


つなぐ拠点

- ☐ 災害時対応機能
- ☐ 地域交通の拠点
- ☐ 障害者施設等の販売スペース
- ☐ イートインスペース

図書館を核とした多世代複合拠点施設

子どもから高齢者まで利用できる複合施設。学習や読み聞かせができる図書館機能、全天候型対応で子育て世代も安心。また子育てや移住定住の相談窓口も併設。飲食スペースを設けることで昼食を持ち込んでの利用や離乳食の料理教室等のイベントも開催可能。また、災害時には避難所として活用し炊き出しも可能。



多世代交流（多目的ホール）



相談窓口機能



図書館・郷土資料館



子育て世代包括支援センター



飲食スペース



6つの役割を果たす施設

多世代交流複合施設（イメージ）

時亮像

図書館を核とした多世代交流複合施設

屋上

ソーラーパネル／緑化（芝）

1階

図書館（郷土資料室・偉人スペース）／事務所
児童クラブ／子育て支援センター（キッズスペース）
多目的スペース／キッチン・飲食スペース／相談室

地下

保管庫／災害用備蓄保管スペース

道路

屋根付き
スペース

公園・広場・イベントスペース

駐車場

P

バス停

EV車充電

道路拡張

榕城小